

上信越：戸隠山

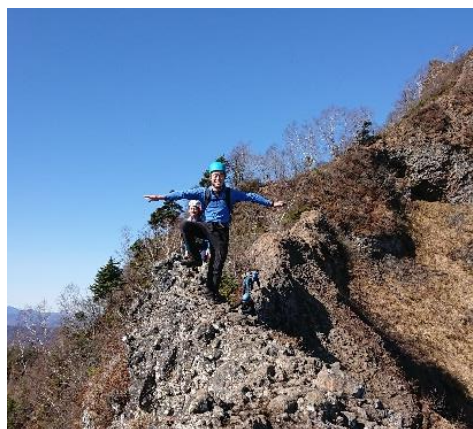
- ◆日程 2020年10月31日(土)
 ◆メンバー L：OY、SD、OT、MD、TY
 ◆天候 晴

金曜日の仕事を終えて、海老名 SA に夜間集合。前泊ポイントの道の駅「しなの」に向けて2台で出発。気分は高ぶり、仕事の疲れなんぞ残ってやしない。そう、20才代のノリだ。しかしながら、その気分も途中まで。片道300km以上は長い。所詮50才前後の集まり、とにかく眠い。前泊ポイントに到着とすぐに爆睡となった。

翌朝、登山者用駐車場に車を止め、戸隠牧場を抜けていく。紅葉は終わりに近いが、まだまだ楽しめる。うっすらと雪も積もっており、赤と白のコントラストが美しい。秋から冬へと変化を感じる時期でもある。稜線にでると、感動は更に大きくなる。360度のパノラマに、雪山と紅葉、遠くには富士山までもが見渡せる。時折、足を止めて景色を堪能する。自分がこの場にいることをうれしく思う瞬間でもある。

しばらく歩いていると、遠く女性の黄色い声が聞こえる。その声はだんだんと近づいてくる。大学生のグループであろうか、雪玉を投げ合いながら、実に楽しそう。今日の夜は、更に盛り上がるのであろう。楽しい思い出を作ってください。ホント羨ましい。

そして、本日のメイン！ 八方睨を越えて、「蟻の塔渡り」である。両側が切り立つ崖となっている。普通は、登りで通過するみたいであるが、我々は下りでの挑戦となる。この場所で、二本足で立たなければ一生悔いに残ると、立ち上がる。無風であったことが恐怖心を和らげる。SDさんは更に技を加える。「命」だ！ ココで命を披露するとは恐れ入る。



メインを通過後の下山は、ほぼ印象に残っていない。いつの間にか戸隠神社奥社に到着し、観光客が大勢いた位であろうか。早々に宿泊地の戸隠キャンプ場へ移動となり、焚火を囲み、お酒で口をアルコール消毒しながら、山を語り合う。土曜日というのにキャンプ場は空いており、広々と設営ができて解放感のあるキャンプ場である。山に囲まれて景色がいいのも見逃せない。トイレも綺麗だ。なんとといっても「ウォシュレット」で・す・よ！！
 さあ、明日も山だ。おやすみなさい。

(記：MD)

CT：駐車場 7：30 - 戸隠牧場 8：00 - 一不動避難小屋 9：15/9：30 - 九頭龍山-10：30 - 戸隠山 11：15/11：30 - 八方睨 11：50 - 戸隠神社奥社 14：00
 - 駐車場 15：00